

STAGE+を楽しむ(133)(HP 収載)  
—ムソルグスキーの《展覧会の絵》—

1. 始めに

前報(132)に引き続き、STAGE+のムソルグスキーの《展覧会の絵》の試聴を実施します。

2. 試聴音源

今回は、ムソルグスキーの《展覧会の絵》の演奏を選びました。

収録配信 2024年2月18日 4:00

オラフソン×ウェルザー＝メスト共演によるクリーヴランド管、本拠地でのコンサート

セヴェランス・ミュージック・センター

再配信 2024年2月18日 10:00

再配信 2024年2月18日 20:00

2023年3月にセヴェランス・ミュージック・センターで行われた、音楽監督フランツ・ウェルザー＝メスト指揮によるクリーヴランド管弦楽団の公演映像をお届けします。プログラムは、1842年にパリ音楽院で女性として初めて教授となったルイーゼ・ファランクの劇的な交響曲第3番で幕開け。ラヴェルのピアノ協奏曲では、革新的なアプローチで楽曲に新たな命を吹き込むデジタル時代の申し子、ヴィキングル・オラフソンの手腕にもご注目ください。最後は、そのラヴェルが華麗にオーケストレーションを施したムソルグスキーの《展覧会の絵》で締めくくります。

ソリスト:

ヴィキングル・オラフソン (ピアノ)

演奏:

クリーヴランド管弦楽団

指揮:

フランツ・ウェルザー＝メスト

曲目:

ルイーゼ・ファランク 交響曲第3番ト短調 op. 36

モーリス・ラヴェル ピアノ協奏曲ト長調 M. 83

ヴィキングル・オラフソン?(ピアノ)

モデスト・ムソルグスキー 《展覧会の絵》(ラヴェルによるオーケストラ版)



### 3. 試聴の経過

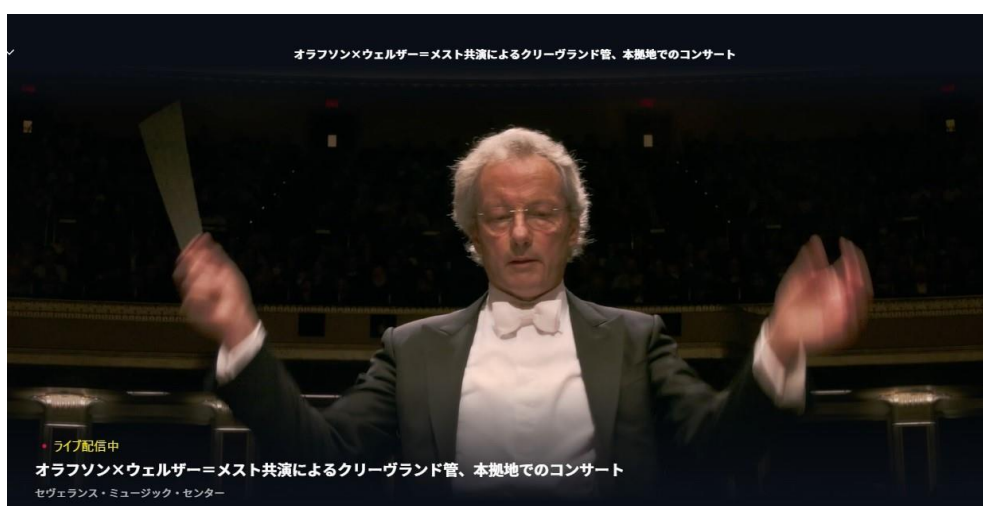
前回に引き続き、スピーカーアキュライザーの位置を変更し、スピーカーアキュライザーからのバイワイアリングケーブルにケーブルチューナーを装着し、ルーター→スイッチングハブ→PCの2本のLANケーブルにLANアキュライザーを使用しています。さらに、スイッチングハブに光城精工の仮想アース Crstal EpLを接続し、ルーターに自作の仮想アースを接続しています。

前回からは、CDクリーナーの効果(9)で報告しましたようにPCのストリーミング再生において、PCの液晶画面とLAN iSilencerとルーターに対するCDクリーナーの処理を行っています。

ファランクの交響曲第3番は初めて聴くものです。いぶし銀の音がすると評判のセヴェランス・ミュージック・センターでの演奏で、古典派の交響曲のように全般に落ち着いた自然な音の演奏が聴けます。

ラヴェルのピアノ協奏曲ト長調は、ジャズの影響を受けたような曲でラヴェルらしい色彩感に富んでいます。オラフソンのピアノ、木管、金管を問わず、自然な質感が出ています。

ムソルグスキーの《展覧会の絵》は、これもお馴染みの色彩感と躍動感に富んだ曲で、鐘やチューバのソロなど、いろいろな楽器が次から次へと現れますが、どの楽器の質感も鮮やかに音を紡いでいきます。



#### 4. まとめ

LAN アクキュライザーと Crstal EpL や CD クリーナーの効果により、セヴェランス・ミュージック・センターにおける色彩感あふれる曲の演奏の雰囲気味わえました。

以上